

2017年9月26日に行われた なぜ今、「サブスクリプション」へ切り替えるのが最適なのか？
と題したウェブセミナーでお寄せいただいた

ご質問とその回答

作成日：2017年10月4日

ご質問

特別期間が終了した以降のサブスクリプションの更新価格について、新規契約時の価格と同じになる可能性はありますでしょうか。永久+保守の保守契約更新価格を超える可能性はございますでしょうか。

ご回答：

3年間の特別期間終了後、4年目に関しては、3年間継続した特別価格よりは高い価格設定になりますが、新規サブスクリプションよりも安い価格での更新価格が設定される予定でございます。

ご質問：

ユーザー管理について

マルチユーザー使用時のユーザー権限設定とはどのような作業を行うのでしょうか。

ご回答

マルチユーザーの場合、指名ユーザーの権限設定をしなくても製品をご使用いただけます。

ユーザー様が技術サポートやクラウドサービスを利用する場合は、契約管理者権限の方がサービスの割り当てを Autodesk Account 上で行う必要がございます。詳細は以下の URL の記事をご参照ください。

▼製品、サービス、サポートに対してユーザのアクセス権を設定する

<https://knowledge.autodesk.com/ja/customer-service/account-management/subscription-management/users-permissions/set-user-permissions-classic-view>

ご質問

2017年2月に保守プランからサブスクリプション契約へ特別価格にて更新する場合、2016年契約金額+5%（の費用）にて契約します。その後はずっとその価格で継続可能でしょうか？

ご回答

2018年2月にサブスクリプションへ切り替え更新される場合、2019年2月、2020年2月の更新については同じ更新費用となります。

そのあとは、2018年2月の更新価格より約15%~20%ほど高くなる見込みです。

ご質問

サブスクリプション契約へ（の）切り替えは永久ライセンスの放棄とりましたが、切り替え前にインストールされたバージョンも放棄の対象となりますか。

ご回答

原則としては、切り替え先のサブスクリプションをインストールして使用開始されましたら、切り替え元の保守プランのライセンスはアンインストールする必要がございます。ただし、様々なケースがございますの

で、具体的に現在ご使用の製品とバージョン、切り替え先予定の製品とバージョンをともなって、最寄りの販売店あるいは、オートデスク（M2S 問い合わせ窓口は www.autodesk.co.jp/m2s に WEB フォームがございます）までご相談いただければと思います。

ご質問

サブスクリプションのメリットとして挙げられた内容のうち、電話サポート以外は現状の保守プランでも可能だと思いますが、今後保守プランではそれらのサービスが受けられないということでしょうか。

ご回答

いいえ、保守プランを継続の場合でも、従来通りの特典（最新版へのアクセス、前バージョンのご使用、ホームユース、WEB サポートなど）をご利用いただけます。

ご質問

そもそも保守費がここまで上がる理由は何でしょうか。他社の製品を見ても、このような上げ幅で保守費があがることはありません。

ご回答

オートデスクは、お客様に、従来型の買い取り式ライセンス（永久ライセンス）から、サブスクリプション方式のライセンスに移行することを推奨しております。この移行を促す意味合いもございますし、また、サブスクリプション方式と買い取り式ライセンスの保守の方式と 2 つのモデルを並列で運用するのにコストがかかることから、お客様のご負担になることは承知のうえ、申し訳ございませんが、保守プランの段階的な値上げをさせていただくこととなりました。

ご質問

弊社は保守期間がバラバラであるため、このままサブスクリプションに切り替えると、ライセンスファイルの更新が増えてしまいます。ご説明では期間を合わせることはできないとのことですが、合わせるすべはないでしょうか。

ご回答

まず、一番満了日が遅い保守プランに満了日を合わせる形で保守プランを月割で更新し、保守プラン契約の満了日を合わせます。その後、切り替えをご注文いただきますと新しいサブスクリプションでも満了日が揃うかと存じます。

ご質問

AutoCAD 製品のメーカーサポートは、最新バージョンから過去 3 世代のバージョンまでとなっており 2014 以前は、メーカーサポート切れで使えないと認識していましたが、サブスクリプションの契約に変えたらメーカーサポートが受けれるようになるのでしょうか。

ご回答

いいえ、現在保守プランでサポート対象外である前バージョンは、サブスクリプションでもサポート対象外でございます。サポート対象外でも使用されているお客様はいらっしゃるため、このようなご説明の場でも切り替えのシナリオについて触れております。なお、サポート対象外のバージョンに関するご質問には、ご

回答できない場合もございますが、Best effort という形でご対応させていただいております。

ご質問

最新の保守プランを利用してサブスクリプション契約に変更したとしても AutoCAD 2015 以降 2018 (最新) までのバージョンが利用できるが 2014 以前は利用不可とのことで認識違いは、ございませんか。ウェブ 세미나を聞いていて 2014 が使えるような感じを持ちましたので確認させていただきました。

ご回答

現在保守プランで 2014 をお使いでしたら、そのままサブスクリプションへ切り替え後もご使用いただけます。ただし、シングルユーザー (スタンドアロン版) の場合はシリアル番号をサブスクリプションのライセンスへ上書き、あるいは、マルチユーザー (ネットワーク版) の場合ライセンスファイルの差し替えが必要となります。

なお、新規でサブスクリプションを購入の場合は、概ね 2018 から過去 3 バージョン、2017,2016,2015 の 3 バージョンのみの使用となります。厳密には、新規で購入した場合に使用可能な前バージョンは、以下の URL に掲載のバージョンとなります。

<https://knowledge.autodesk.com/ja/customer-service/account-management/software-downloads/previous-versions/eligible-previous-version-subscription>

ご質問

保守プランで 2014 を利用の場合、メーカーサポートを引き続き受けれるとの理解でよろしいですか。

ご回答

以下でお伝えした前バージョンの使用可能リストに掲載されているバージョンがサポートの範囲となっております。しかしながら、現実的には、WEB サポートなどで古いバージョンのご質問をいただいた際には、Best Effort の形でお応えしております。

ご質問

切り替え時の手順書につきましては分かりやすく、出来れば図解入りでお願いしたいと思っております。

ご回答

図解が入っておらず、わかりづらくて申し訳ございませんでした。

以下の URL 先に切り替え時の手順についてご案内がございますので、ご参考になりましたら幸いです。

▼シングルユーザー アクセスのサブスクリプションに移行する

<https://knowledge.autodesk.com/ja/customer-service/account-management/move-to-subscription/complete-the-switch/single-user-access>

▼マルチユーザー アクセスのサブスクリプションに移行する

<https://knowledge.autodesk.com/ja/customer-service/account-management/move-to-subscription/complete-the-switch/multi-user-access>

また、上記とほぼ同様の内容になりますが、現在保守プランの特典としてご利用いただいている前バージョンの環境を維持したままサブスクリプションへ切り替える方法についてまとめたドキュメントもございますので、ぜひご覧ください。

https://damassets.autodesk.net/content/dam/autodesk/www/campaigns/m2s/M2S_PreviousVersionUse2017Aug-JP.pdf

ご質問

今年度に3年で切り替えた場合、2021年度からはサブスクリプション価格になるんですか？特別価格はいつまで続くんでしょう？予算確保の問題があるのでこういうアナウンスは前年度からしてほしいものです。今年度の切り替えで3年にしたいところだけど、額によっては予算内に納まらないですね…。また、弊社内ではRevitとRevitLTで管理者が現在違っているのですが、統合する事も可能か、可能でも不要か、したほうがいいのか、等も併せて回答ください。

ご回答

はやめの告知ができておらず申し訳ございません。2021年度、つまり4年目の価格は、今回の更新価格の約15%~20%アップの価格となる予定です。(サブスクリプションの新規通常価格よりはお安い設定です。) また、RevitとRevitLTの契約統合についてですが、契約満了日が異なっている場合は、満了日を合わせるために月割での更新処理を保守プラン契約として行っていただき、契約統合することは可能です。この時、契約管理者はどちらか片方の方になり、もう片方の方はソフトウェアコーディネータとして割り当ていただくことで、ほぼ契約管理者と同じ権限(Autodesk Accountでのユーザー管理やソフトウェアのダウンロード権限)を持つことが可能です。契約管理者とソフトウェアコーディネータの違いは、契約更新のお知らせが、契約管理者にしか届かない点にあります。また、現在別々の契約で管理されていて特に問題が無ければ、現状のままでも差支えないと存じます。

ご質問

将来的には、保守プラン契約はなくなり、サブスクリプションプランに一本化されるのでしょうか？

ご回答

サブスクリプションへの移行を推奨はしておりますが、今のところ、保守プランを近々に販売停止にする予定はございません。

ご質問

保守とサブスクリプション併用は可能ですか？

ご回答

切り替え元の保守プランと、切り替え先のサブスクリプションを同時に使用することはできません。

ご質問

サブスクリプション契約のユーザー認証はメールアドレスか何かですか？パソコンのアドレスですか？

ご回答

オートデスクID(メールアドレスと1:1になっています)とパスワードによる認証です。また、認証それ自体はハードウェアごとに行われます。たとえば、サブスクリプションのシングルユーザーライセンスの場合、1人のユーザーの方が複数PCをお持ちの際、1ライセンスで複数PCにインストールが可能です。このとき、ライセンス運用中の30日に1度の認証はハードウェアごとに行われますので、複数のPCにインスト

ールしているユーザー様の場合は、それぞれお使いの PC を 30 日に 1 度ネットワーク環境に置く必要があります。

ご質問

30 日ごとにインターネットに接続する必要がある・・・についてですが、接続しなかったら、どうなるのでしょうか？要は、一ヶ月以上、CAD を使わなかった場合です。弊社では長期出張等で、一ヶ月使わないケースも出て来ます。

ご回答

インターネットに接続せずに 30 日以上経過した場合、インターネット環境ではないところで起動しようとしても起動せず、「インターネットに接続してください」という主旨のメッセージが表示されます。インターネット環境で起動すれば、再び起動します。（もちろん、有効な契約期間内です。もしも契約が切れてしまった場合は、起動しません。）オフラインで使用中ネット接続が必要となる日の 7 日前よりメッセージが表示されます。ご参考までに以下の WEB ページもご確認ください。

▼サブスクリプション契約を結んだオートデスク製品を、インターネットに接続しなくても使用できる期間
<https://knowledge.autodesk.com/ja/search-result/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/How-long-can-I-use-Autodesk-products-on-Desktop-Subscription-without-an-Internet-connection.html>

ご質問

Web 上からソフトをインストールする際、ブラウザインストールが無難なのは何故でしょうか？

ご回答

「今すぐインストール」を選択した場合、オートデスクのダウンロード・インストールシステム（ダウンロードマネージャー）がお客様の PC に常駐となり、バックグラウンドでダウンロードやインストールを行うため迅速に処理がされます。しかし稀にこのシステムとお客様がお使いのコンピューターとの相性が合わないとき、エラーが発生する場合もございます。一方「ブラウザダウンロード」はこういったシステムに依存せずシンプルな構成のため、時間はかかりますがエラーが起きる確率が下がります。

ご質問：

今、MAYA の 2015、2016、2017 を使っていますが、サブスクリプションに変更しても、すべて継続して使用可能という認識でよいですか？

ご回答：

現在保守プランでご使用いただいている場合は、原則使用可能かと存じます。